

## 平成25年度業務実績報告における各小項目の自己評価と評価委員会評価(案)一覧表

参考資料

大項目	小項目	ウェイト	平成25年度		評価(案)の判断理由・評価のコメント
			自己評価	評価委員会評価(案)	
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置					<p>【小項目評価基準】</p> <p>評価5…年度計画を大幅に上回って実施している。 評価2…年度計画を十分に実施できていない。</p> <p>評価4…年度計画を上回って実施している。 評価1…年度計画を大幅に下回っている。</p> <p>評価3…年度計画を順調に実施している。</p>
1 医療サービス	(1) 良質な医療の実践	こども病院	2	3	<b>3</b>
		市民病院	2	3	<b>3</b>
	(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進	こども病院	2	4	<b>4</b>
		市民病院	2	3	<b>3</b>
	(3) 災害時等の対応	両病院共通	1	4	<b>4</b>
					小児総合医療施設として高い水準の医療機能を維持し、効率的なペッドコントロールに努めるとともに、新病院への円滑な移行準備を進めるなど、年度計画が順調に実施されていることから、「評価3」とする。
	(1) 患者サービスの向上	こども病院	2	3	<b>3</b>
		市民病院	2	4	<b>4</b>
	(2) ボランティアとの共働	こども病院	1	3	<b>3</b>
		市民病院	1	3	<b>3</b>
3 医療の質の向上	(1) 病院スタッフの確保と教育・研修	こども病院	2	4	<b>4</b>
		市民病院	2	3	<b>3</b>
	(3) 信頼される医療の実践	こども病院	2	3	<b>3</b>
		市民病院	2	3	<b>3</b>
	(3) 法令遵守と情報公開	両病院共通	1	3	<b>3</b>
					人材確保が困難な中、必要な医師を確保したこと、外国人医師との技術交流を実施したこと及び医療技術職の資格取得により専門性の向上や医療技術の向上を図ったことから、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とする。
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実	両病院共通	1	3	<b>3</b>
					理事会を定期的に開催し、決定方針に沿った運営を行い、また、看護師・助産師の重要課題に対処するため、4月から新たに看護部門の担当理事を設置するとともに、院長のリーダーシップの下、両病院の現場の実態に即した機動性の高い病院経営を行っており、年度計画が順調に実施されていることから、「評価3」とする。
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	2 事務部門等の専門性の向上	両病院共通	1	3	<b>3</b>
					病院経験者を採用し両病院の医事課に配置するとともに、両病院の人事異動を積極的に行い各部門の活性化による専門性の向上を図り、また、両病院において病院経営に関する研修への参加を推進し、事務職員の資質向上に努め、年度計画が順調に実施されていることから、「評価3」とする。
第4 その他業務運営に関する重点事項を達成するためとるべき措置	3 意欲を引き出す人事・給与制度等の導入	両病院共通	1	3	<b>3</b>
					平成24年度に実施した職員満足度調査の結果を踏まえ、両病院において福利厚生施設の拡充や職場環境の改善に努め、また、職員の給与について、社会一般情勢に適合するよう所要の改定等を行うとともに、医師の人事評価制度を平成26年度から実施するなど、年度計画が順調に実施されていることから、「評価3」とする。
2 収支改善	(1) 運営費負担金の縮減に向けた経営基盤の確立	両病院共通	2	3	<b>3</b>
					毎月、経営幹部で構成する「経営会議」を開催して経営状況を検証して改善策を講じるなど経営管理を徹底し、効率的な病院経営を行うとともに、両病院において積極的な増収対策や費用削減に取り組んだ結果、平成24年度に引き続き、運営費負担金繰入後の経常黒字を達成し、年度計画が順調に実施されていることから、「評価3」とする。
	(2) 投資財源の確保	両病院共通	1	3	<b>3</b>
					自主財源の確保対策として、収支改善による利益確保と入札の実施による従来を上回る定期預金利率での積立金の運用を行い、年度計画が順調に実施されていることから、「評価3」とする。
	(1) 増収	こども病院	2	3	<b>4</b>
		市民病院	2	3	<b>3</b>
	(2) 費用削減	両病院共通	2	3	<b>4</b>
					高額薬剤の使用件数の減少などにより外来単価が減少したものの、入院診療単価の上昇などにより、予算を上回る医業収益を確保するなど、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とする。
	(3) 収支改善	両病院共通	2	3	<b>3</b>
					入院患者数及び入院単価の減により医業収益について、前年度実績を約1億5,300万円下回る約48億8,600万円となったが、手術件数、救急搬送件数が目標値を上回るとともに、診療報酬の適正化や未収金対策にも取り組んでおり、年度計画が順調に実施されていることから、「評価3」とする。
1 新病院の整備及び運営に関する取組	2 福岡市民病院の経営改善の取組	こども病院	2	3	<b>3</b>
					人事管理や給与支給事務など両病院に共通する業務については、本部事務局において集約して執行するなど、法人全体により効率的な事業運営に努めるとともに、両病院においても年度計画に基づいて徹底した費用削減に取り組み、年度計画を上回って実施していると判断し、「評価4」とする。
		市民病院	2	3	<b>3</b>
					両病院において、年度計画に基づいた増収対策及び費用削減の取り組みを徹底し、収益の確保に努め、予算を上回る当期純利益を確保しているが、目標値を下回っている項目もあるため、「評価3」とする。